

N54a

ASCA による GROJ1744-28 の観測

西内満美子、小山勝二、前田良知（京大理宇宙線）堂谷忠靖、浅井和美、上田佳宏、満田和久、長瀬文昭、井上一（宇宙研）、Chryssa Kouvelitou(MSFC)

GRO J1744-28 は、1995年12月2日に Compton Gamma Ray Observatory 上の BATSE によって発見された。これは、パルサーとパルスターの両方の特徴を同時に持っている大変珍しいソースである。これを、ASCA によって、1996年2月26-27日に観測した。その際、計12回のバーストを検出した。そのうちの10回は、peak count 数が、~3000 counts/sec に達する大きなものであった。残りの2回は、peak count 数が、~300 counts/sec ほどのものであった。各々のバーストは、バースト直後に light curve が dip を示す。dip の継続時間と、バーストの大きさには、正の相関が見られる。また、Point Spread Function に比べて、広がった image を持つ。これは、dust 散乱の影響と考えられる。今回は、バーストとディップの大きさの関係についての考察と、X線 emission の広がり起源についての考察を行なう。